

風しん

風しんウイルスによっておこる急性の発疹性感染症です。

症状や特徴

★主な症状

- ・感染すると約 2～3 週間後に発熱や発疹、リンパ節の腫れなどが現れます。
- ・大人が発症すると発熱や発疹の期間が子供に比べ長く、関節痛がひどい事が多いとされています。

★主な特徴

- ・風しんに対する免疫が不十分な妊娠 20 週頃までの妊婦が風しんウイルスに感染すると、先天性風しん症候群の子ども(眼や心臓、耳等に障害をもつ)が生まれてくることがあります。妊婦の周りにいる人(妊婦の夫,子ども,その他の同居家族等)は風しんに感染しないように予防に努めて下さい。

感染経路

飛沫感染や接触感染でうつります。

- ①飛沫感染…感染している人のくしゃみや咳で出るしぶきを吸い込むことによる感染。
- ②接触感染…感染している人の唾や鼻汁が手から手へ、あるいはドアノブやつり革などを介して手に付着することなどによる感染。

予防方法

★予防接種が最も有効な予防法です。

風しんワクチンを接種することによって、95%以上の人が風しんウイルスに対する免疫を獲得することができますと言われています。また、2 回の接種を受けることで 1 回の接種では免疫が付かなかった方の多くに免疫をつけることができます。さらに、接種後年数の経過と共に、免疫が低下してきた人に対しては、追加のワクチンを受けることで免疫を増強させる効果があります。

風しんに感染したら

★受診して医師の指示に従ってください。受診の際は必ずマスクの着用をしましょう。

*** 特異的な治療法はなく、症状を和らげる対症療法のみとなります。**

大学への報告

風しんは学校保健安全法により第二種感染症に指定されており、「湿疹が消失するまで出席停止」と決められています。登校停止感染症としての手続きが必要です。

風しんと診断された方は、必ず大学の保健室ホームページの報告フォームに入力してください。

厚生労働省 HP 風しんについて

https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekaku-kansenshou/rubella/index.html